



～ 生き方を学び 生き方を考える 学校歯科保健 ～

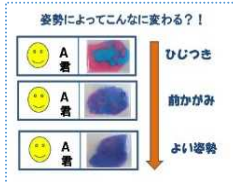
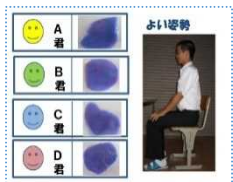
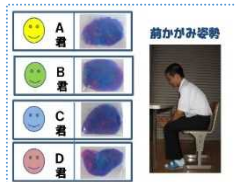
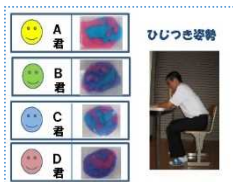
鳥取県鳥取市立 鹿野中学校

本校は、道徳教育を中核とした学校教育を推進しています。その中で、生きる力の基盤、よりよく生きていくための資源としての健康・体力の向上を目指し、歯・口の健康づくりを柱とした健康教育を展開しています。特に、「体験活動の充実」、「表現活動の重視」、「道徳教育への展開」を重点に取り組んでいます。

①体験活動の充実（実際にやってみる）

咀嚼力判定ガムを用いた姿勢の違いによる咀嚼力の違いを実験（生徒委員会活動）

咀嚼力判定ガムを使って、「肘つきの姿勢」・「前かがみの姿勢」・「良い姿勢」で、赤・青2種類のガムを30回ずつ噛み、二つの色の混ざり具合を比べてみました。良い姿勢で噛んだときが一番上手く噛めていました。いい姿勢で食事をする理由が分かりました。



②表現力の重視

小学生へ出前保健指導

パネルシアターやエプロンシアターを利用して、小学生への保健指導。楽しく、分かりやすい表現を工夫しました。



- よくかんで食べる理由 -

- 赤・黄・緑の食べ物 -

園児たちへ絵本の読み聞かせ

歯みがき絵本の読み聞かせをしました。声の調子や読み方を工夫しました。ところどころに解説を加えました。



学校保健委員会で生徒の意見発表

生きる力の基盤となる健康・体力について、生徒が日々の活動を通して考えていることを学校保健委員会で発表しました。



- 拡大学校保健委員会 -

糖尿病が死因であったと考えられている藤原道長の生活状況と現代鹿野町の状況とを比較し、警告する。

自身の作った2枚の歯科保健啓発ポスターで、メッセージの伝わり方を検証する。

③道徳教育への展開

人物の生き方に学ぶ道徳教育

人物の生き方をと通して、自分自身の生き方を考える道徳教育を進めています。歯科保健の領域では、貝原益軒の「養生訓」より、「禍は口より出て、病は口から入る」をはじめ、歯・口にまつわる健康法を通して、健康に生きる意義を考えます。



④食育

食育指導

毎月19日は、「食育の日」とし、食や食べる機能についての食育指導を給食時ランチルームで一斉指導します。



噛む: 事の大切さや、よりよい食べ方について、養護教諭による指導をしています。